

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフリッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2570回例会プログラム

[当年度=12回目；当月=4週目]

2007年（平成19年）10月22日(月)

1. 例会 …… 〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘 …… 〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
…………… 日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(10/29) …… 卓話

「更生保護ってご存知ですか」

講師 名古屋保護観察所

所長 廣田 玉枝 様

(紹介者 池田 憲司 会員)

- (11/5) …… 新入会員アワー 中村 道彦 会員
" 霜出 俱弘 会員

2. クラブフォーラム …… 〈米山奨学委員会〉

- 13:00 卓話「米山奨学事業の現状について」
講師 地区米山奨学委員会
委員長 大西 弘高氏(名古屋東南RC)
(紹介者 大音 祖瑛 会員)

13. 謝辞
14. 点鐘 …… 〈会長〉
15. 閉会宣言
13:30 16. 散会

出席

会員総数 92名 出席免除 20名
出席義務 72名 欠席 15名 出席率 79.17%
前々回(10/1)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 去る10月11日、多治見CCにて刈谷知立合同ゴルフコンペが開催され、合同の部では塚本幸夫会員がネット70.2で優勝、刈谷クラブの例会では池田憲司会員がネット73で優勝されました。
2) 刈谷市国際交流協会役員・幹事会が10月11日に開催され、杉浦世志朗国際奉仕委員長に出席していただきました。

幹事報告

- 1) 11月3日にIT経営革新セミナーが刈谷市産業振興センターであり、池田工業の池田社長が事例発表をされます。詳細はメールボックスの資料をご覧ください。

副会長あいさつ

パリのレンタル自動車システム

石川 博之



先月フランスのパリへ行った時に、レンタル自転車を見てきました。これは地球温暖化対策の一環としてパリ市が7月15日から始めた無人のレンタル自転車システムです。現在は専用の自転車が1万600台、レンタルステーションが300mおきに750箇所あり、年末までには2万600台、駐輪場は1,400箇所にする予定だそうです。実際の借り方を見てきましたが駐輪場に15台位の自転車がロックしてありその横に立っているチケット購入機にクレジットカードを入れてチケットを購入する。そのチケットが出てきたら、借り

たい自転車の番号を入れるとロックが外れるという具合です。利用料金は保証金150ユーロ（約25,000円）—これは返却時に戻る。最初の30分は無料、次の30分は1ユーロ（約160円）、次の30分は2ユーロ、以降30分毎に4ユーロという段階的に高くなる仕組みです。30分以内に次のステーションで返却し、借り直して行けば1日中無料で乗れる事になります。フランスでは歩道は自転車通行禁止ですのでほとんど路上駐車している車道进行することになるのでちょっと危険だなという感はありますが、パリ市の地球温暖化対策への強い意気込みを感じました。因みに大きな通りにあるバスレーンは自転車通行可になっておりあちこちに自転車専用道路を増設中でした。

2006年の世界の自転車販売台数は6,800万台ですが、これが2020年には8,700万台になるという予測があります。増加する1,900万台のうち850万台が中国、300万台が北米です。（日本は20万台）一方で世界の二酸化炭素排出量の23%がアメリカ、12%が中国であるにもかかわらず（日本は5%）この二ヶ国は京都議定書に参加していないので削減義務を負っていません。二酸化炭素排出削減の推進は大変困難な状況にありますが、こういう状況だからこそ、削減策を産業界にのみ頼るだけでなく、国や地方自治体も住民のライフスタイルを変えさせる手を打つべきではないかと思ひます。

卓 話

「米山奨学事業の現状について」

地区米山奨学委員会
委員長 大西 弘高 様



皆さんこんにちは。今年度の米山奨学委員会の委員長を仰せつかっております大西でございます。刈谷ロータリークラブの竹内さんは米山奨学委員会の副委員長でございまして、竹内さんを中心に活動しております。

米山奨学事業についてお話ししたいと思ひますが、以前、ロータリアンに米山奨学制度を知っているかどうかアンケート調査をしたところ、なんと5人に1人が知らないのにはびっくりしました。

刈谷ロータリークラブは50年以上の歴史があり竹内さんもおみえなので、皆さんの多くは米山奨学委員会をご存じだと思いますが、新しい方もみえるでしょうから、米山奨学事業の誕生からお話ししたいと思ひます。

米山奨学事業は、東京ロータリークラブを作った米山梅吉さんの功績を記念して作られました。米山さんは大変教育熱心で、青山学院初等部の前身の小学校を作られた方でもあります。その米山さんが亡くなって6年後の1952年に、東京ロータリークラブで発足したのが始まりです。その15年後の1967年に、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。ちょうど今年で40年、創立から55年が経ちました。今までに109カ国、13,902名の奨

学生を支援している、民間では日本最大の奨学事業であり、すべてロータリアンの寄付によって支えられている事業です。

米山奨学事業の目的と使命については、「日本と世界・母国を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、世界平和・ロータリー運動の良き理解者を育てること」とされていますが、私は、一言で言えば平和のためにやっているのだと思ひます。1952年に米山奨学事業ができた時、発足の趣旨としては、これからの日本が経済発展していくには、東南アジアの方々に「日本は絶対に戦争をしないんだ、平和を望んでいるんだ」ということを知らしめないと日本の経済発展は無い、ということからスタートしたと聞いております。

ロータリー本部の方針でも、ポリオが終わったら世界のロータリーは何をするべきかについては、世界を平和にすることが大目標だと聞いております。ロータリー財団は、世界中で年間800名の奨学生を支援しています。米山奨学会も東南アジアで同じく年間800名の奨学生を支援しており、これは素晴らしい数字だと思います。

ロータリー財団では、特に世界平和のための奨学生を支援するというこゝで、毎年70名の学生を大学で世界平和に携わるといふ人間に専門教育し、卒業後に国連などの国際機関へ派遣しようとしております。

ロータリー財団は、毎年70名、10年間で700名の奨学生を支援するというこゝですが、これに対して日本では毎年800名の米山奨学生を支援し、これまで14,000名近くになりますが、東南アジアや中国といまだにギクシャクしています。私は、彼らを通じて日本はもっともっと東南アジアの平和のために貢献しているとPRしてもいいのではないかと思ひます。来年4月には、採用の面接も始まりますので、そういうことも頭に入れてやっいてこうかと考えております。

次に、米山奨学事業の現状についてお話しします。まず積立金ですが、この55年間で77億円の積立金があります。内訳は基本積立金が50億、特別積立金が27億です。ピーク時には、1998年に92億円ありました。なぜこれほど減ったかといふと、20億円を超えていた寄付金が、ここ5年くらいは15億円前後と5億円ほど減ってきているためです。

なおかつ、ピーク時には年間1,100名の奨学生を支援していましたが、さすがに積立金が減ってきたため、寄付金の額によって奨学生の数を決めることとし、現在は800名に減っております。奨学金も減らすことで、やっ去年、一部を積立金に回せるようになりました。

参考ですが奨学生1人あたり、ざっと200万円の経費がかかります。来年4月の愛知県内からの奨学生予定者は39名です。愛知県内のロータリークラブは2760地区で会員数がざっと5,000名いらっしゃるのゝで、皆さんから1,000円ずつ集めると奨学生が2人程度増やせることになります。

米山奨学生800名の内訳は、大学生126名、大学院生652名、その他に外国語専門学校などの「地区奨励奨学生」8名、大学院を卒業できずにもう1年継続する「クラブ

米山」奨学生15名、韓国・台湾の学友会から推薦の「特別米山」奨学生2名となっております。

先ほど愛知県内の奨学生予定者は39名と申し上げましたが、1年継続するクラブ米山奨学生が6名いるため、実際は33名の募集となります。採用にあたっては、県内の18大学に計74名の奨学生の推薦をお願いしており、このうちロータリーの条件にあてはまる人だけを面接するわけです。近々、74名の推薦者が集まると思いますが、もし皆さんの中で、推薦された奨学生の中で知っている人がいましたら、竹内さんにお声をかけていただきたいなと思います。

現在、愛知県内で米山奨学金を受けたいという留学生は1,655名もおります。その1,655名の中から74名の方が学校の推薦をもらって、最終的には33名だけが採用されるという非常に厳しい状況となっております。

米山奨学制度の一番の特色は、「世話クラブ」と「カウンセラー制度」です。この制度は他の奨学制度にはないものです。文部省の奨学制度では17万円と、米山の14万円より高い奨学金をもらっていますが、奨学生は、米山の制度はこの3万円の差に変えがたいほど良いとっております。といいますのは、留学しながらこうした会で食事をいただき、事業に成功された方ばかりとお話ができるというのは、他の奨学制度には無いからです。

ですから、95%の留学生がこの米山奨学制度を喜んでくれています。彼らは本当にロータリアンと話をしたがつておりますので、ぜひそうした点もご理解いただき、彼らとお話をしていただければと思います。

最後に台湾の学友会のことをお話ししたいと思います。台北東海ロータリークラブ、このクラブは日本で奨学金をもらっていた学友会の方が中心になって作っているクラブですが、日本語で例会をやっているそうです。その他、台中文心ロータリークラブも奨学生が中心のクラブだそうです。もしも台湾に行かれた折には、ぜひメイクアップされるといいのではないかと思います。

今後とも、米山奨学事業へのご支援をお願いして、今日のお話を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。